

一羊会だより

発行
 社会福祉法人一羊会
 事務局
 〒663-8241
 西宮市津門大塚町1-47
 電話 (0798) 31-1760
 FAX (0798) 31-1763

口座名義
 一羊会後援会
 銀行 三井住友銀行
 西宮支店
 普通 3007061
 郵便振替口座
 01190-8-66322



北里 早樹子
 (きたざと さきこ)
 1980年生まれ
 武庫川すずかけ作業所

「シャワー」や「ワンピース」などの決まった絵を、まるでコピーをしたかのような正確さで、何枚も描く。自分の描いた絵が大好きで、時々笑い声をあげながら、描いてはうっとり眺めている。

今年GH創りの流れを



理事長 三浦 昇

今年は暖かい年明けでのスタートでした。

遅ればせながら、新年明けましておめでとうございます。

いつも、一羊会の取り組みを応援いただきありがとうございます。

さて、振り返ってみれば私も、手をつなぐ親の会の運動に関わってからライフワークとして知的にしょうがいがある人達の生活に関わらせていただき長い年月が経ちました。

何もないところから目指すものを創造していく取り組みは若いころの自分にとっては多くの問題意識をもたせてもらい、又、教えられることも多々あり、人生の根っここといったものを培うことができました。あの当時の自分のモチベーションは障害者差別に対するレジスタンスだったと思います。特に身体しょうがいの方たちのグループなどはさかんに差別解放運動に取り組んでいたのを思い出します。時として知的しょうがいの団体との軋轢などもあり同じ障害者間でもかなりの温度差を感じていたものですが、今はそういった温度差もあまり感じなくなりました。何もないというのは、見通しが持てない、不安定、これからどうなるのだろうといった感覚になりがちですが、逆に見えないからこそ取り組む、無理と思われる、しかし避けては通れない事だからこそ取り組む、それを打ち破り創造していくパワーが「すずかけ作業所」開設当時はみんなの結束としてあったのだなと振り返りつつ、共感・自由な精神・主体性・協力共働の意識が自然と培われた時代だったと思います。

今は、制度が整備されて喜ばしい反面、既定の枠の中で実践することが一般化、細分化され、それに伴う事務量の多さで現場の職員にとっては半分事務作業に追われ、肝心の本人さんとの関わりが薄くなっ

ているのではないだろうかと危惧しています。課題に対する問題意識を持ちつつも、「主人公はだれか」を忘れず、楽しく取り組むという温度が必要だと思っています。日々に流されて職員の中でこんなものやという仕事感覚に陥らないよう心がけてほしいものです。

かくいう自分自身にもモチベーションアップの元気印を持続できるよう言い聞かせている年頭です。昨年末の憤った気持ち切り替え、少しでも前進していきたいと願っています。

みんなの願いを具体化できる様頑張っていき西宮市における地域生活支援、特にグループホーム事業が進展するうねりを創る年にしたいものです。

今年もお付き合いの程、どうぞよろしくお願い致します。



新しい年を迎えて

一羊会後援会
会長 太田 博

立春を過ぎてから「新しい年を迎えて」でもないのですが、今年初めてのご挨拶として、今年もよろしく願いいたします。

昭和51年(1976年)社会福祉法人一羊会が設立され、翌年に開園した「一羊園」の経済的にスムーズな運営ができるようにと、昭和53年に有志の発案で「一羊園福祉会」が設立されました。

施設運営には、園の安定のために会員を募集し、毎年払い込んでいただく会費をもって、定期的に園の助成をしようという趣旨のものです。

一方、社会福祉法人一羊会としては「すずかけ作業所」「すずかけ労働センター」等の運営に取り組み、西宮市手をつなぐ育成会と連携しながら、また行政の支援を受け、知的に障害がある人たちが、地域の中でごく普通に働き、安心して生活できることを目指して施設づくりを進めてきました。

「一羊園福祉会」もこれらすべての施設を支援し

ていくため、昭和62年（1987年）11月「一羊会後援会」と名称を変更し、会員の皆様の更なるご支援をいただくことになりました。

社会福祉法の改正に伴い、今年4月から社会福祉法人は、理事・評議員等の役割や責任が明確化され、新しい体制での運営と地域福祉に貢献することも求められることになりました。

組織も大きくなり、行政の支援も多くなったとはいえ、国の財政難から改定ごとに厳しくなることは予想されます。「社会福祉法人一羊会」にとっては、後援会に集まる金額の比率は少ないものではありませんが、会員を中心とした皆様からお寄せいただくお気持ち、利用者・保護者・職員の励みとなりますので、法人と一体になって後援会の会員拡大、募金活動等で存在意義を高めていきたいと思っています。

後援会役員も初心に帰って、力を尽くして支援の輪を広げていくつもりですので、会員の皆様はもちろん、当後援会の趣旨をご理解のうえ、一人でも多くの皆様のご入会をいただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年一羊会新年会

すずかけ作業所 支援員 松本 直人

1月28日(土)に今年も関西学院会館「光の間」にて、2017年一羊会新年会が行われました。各事業所から代表で集まった利用者・職員と来賓の方々の総勢86名が一同に会しました。

来賓祝辞の後、各事業所から乾杯の発声をしたい利用者がステージに上がり盛大に乾杯をして新年会がスタートし、美味しいコース料理がテーブルに並んでいきました。

新年会を楽しんでいる途中、各事業所から代表で選ばれた利用者は作業で頑張りたいことやそれぞれの目標に向かって努力することを宣言し、新任の職員は事業所への感謝の気持ちや来年度に向けての決意表明をしていました。私もすずかけ作業所の新任

職員として自分の思いを話しましたが、周りから暖かい拍手を頂き、一羊会全体に対して自分に何ができるのかを考えさせられ、改めて頑張っていきたいという気持ちになりました。

その後、5名の法人職員と職員の弟さんからなるバンド「ブラジル」による生バンド演奏があり、「すーだら節」や去年ブームとなったドラマ主題歌で星野源さんの「恋」などを演奏して頂きました。演奏が始まり、恥ずかしくて席に座っていた利用者の方々も、バンドメンバーの掛け声を機にステージに上がり、ステージ上には、同メンバーのダンスを参考に踊っている利用者の方やマイクを持ち歌を歌っている方、楽器を演奏している方がおられました。バンド演奏の雰囲気を楽しんでいる方もいらっしゃいました。それぞれがやりたいことをでき、新年会で一番の盛り上がりを見せました。

おいしいコース料理に舌鼓を打ったり、バンド演奏を楽しんだりといつもととは違う雰囲気に緊張したのか周りをキョロキョロされた方もいましたが、反対に笑顔が見られ楽しくなった方もいらっしゃいました。また、以前一緒に働いていた人との再会に喜ぶ利用者や職員たちの様子も伺えました。

1年に1度しか全体で顔を合わせる機会がない為、今後も大切にしていかなければならない時間だと思いました。



リレーエッセイ

すずかけ作業所 管理者 秋山 健一

“ワールドカップ史上最大の衝撃”・“スポーツ史上屈指の番狂わせ”などで形容された“ジャイアントキリング”をみなさんご存知ですか。

これらは、ラグビーワールドカップ2015イングランド大会の9月19日、イングランド南東部の海辺のブライトンで起こった、日本代表が南アフリカに勝った試合後、世界中のメディアの見出しで踊った言葉です。あの時の興奮は、今でも忘れられず、録画している試合を今までに何度も観ており、結果は知っているのですが、試合のラスト数分間はハラハラとドキドキで大変なことになります。

話を戻しますが、何故これほど騒がれたのでしょうか。その理由は、当時の日本のメディアでも多く報道されていた内容ですが、南アフリカは世界ランク3位で日本は13位だったからだと思います。ラグビーというスポーツは、体をぶつけ合う事が一番大きな特徴だと思うのですが、そういうスポーツはどうしても体の大きい方が有利になります。それ以外にも様々な理由で、番狂わせが起りにくく、下馬評通りの結果になるスポーツだと言われています。この辺りについては、もう少し詳しく書きたいのですが、文字数の関係で今回はこれぐらいにしておきます。(ちなみに、リオデジャネイロオリンピックの7人制ラグビーの予選で、日本がニュージーランドに勝利しましたが、7人制ラグビーは15人制ラグビーに比べると番狂わせが起きやすいとはいえ、ニュージーランドに日本が勝利したことも快挙と言えます。)

15人制ラグビーのワールドカップは、4年に一度しかなく、国の威信をかけて戦う場であり、ラグビー界で一番重要な戦いの場でもあります。ですから、出場国は入念な準備をしてくるので、なおさら番狂わせが起りにくいのです。

ワールドカップで過去2度の優勝をほこり、今回の大会で3度目の優勝を目指しており、なおかつワールドカップでの勝率が史上最も高い国の南アフリカと、それまで1987年の第1回ワールドカップから7大会連続出場していましたが、1勝2分け21敗で最も勝率の低い国の日本との戦いで、日本が勝ったのですから、世界中の驚きにも納得できるのではと思います。南アフリカに勝利した後の3戦は、2勝1敗の成績となり、予選プールで3勝をあげる快挙をなしとげました。(しかし、予選

を突破できない初めての国になりました。)このように素晴らしい成績を残しましたが、当時の日本のヘッドコーチであったエディーは、「自分の仕事は“ベスト8に日本をつれていくこと”」と言っていたので、エディーHCの仕事としては、達成できなかった部分になるかと思えます。

ワールドカップ後の日本のラグビーフィーバーは、みなさんご存じの通りだと思いますが、大変なものでした。“五郎丸ポーズ”という言葉が、2015年の流行語大賞にノミネートされるぐらいでした。

では、本題に入ります。ラグビーワールドカップ後の2015年シーズンの観客動員はトップリーグ始まって以来の多さだったようです。それは、日本協会が何か仕掛けをしたというより(もちろん、日本協会が何かの仕掛けをしていた部分はあったとは思いますが)、ワールドカップの南アフリカ戦の勝利と五郎丸ポーズなどによる、ブームというのが大きかったのかと思います。しかし、そのブームも続かず、2015年シーズンは1試合平均約6470人の観客動員、2016年シーズンは1試合平均約4700人の観客動員となり、2015シーズンに比べると減ってしまったようです。原因は色々あると思いますが、一つには観客動員をどうやって伸ばすか、もっと多くの人にラグビー場に足を運んでもらう為に何をするのか、という発想が少なかったのではと考えています。今年上手くいったから、来年もうまくいくはずだという考え、新しい発想で新しく取り組んでいこうという部分が抜けていたのかと考えています。つまり、一つの成功なり上手くいったことに対して、さらによくしようというのがなく、このまま何もしなくても大丈夫だろうという思いがあったのか。真相は分かりませんが、どこかそういう保守的な部分があったのではないかと思います。

このことを、自分の職場に置き換えて考えてみると、次のようになるのかと思います。利用者支援を行なっている日々の中で、うまくいった取り組みがあった場合に、さらにそれ以上何か良くしていこうと取り組んでいかないと、現状維持もままならなくなります。

どちらにしても、将来のビジョンを描きながら、今の状況にとどまらず、物事をさらに進めていくことの大切さを改めて感じさせられました。

後援会活動報告

2016年度も後援会活動として、例年どおり、秋の「にしのみや市民祭り」、冬の「輪イ和イひろば」で「いか焼き」の販売をしました。またこれも定番となりましたが、「はたらく仲間のうた」カレンダー（きょうされん）の販売もしました。そして、今年の1月9日～11日の十日戎には募金活動を行い、参拝

される多くの方に募金に協力していただきました。

毎年、同じような活動ではありますが、いつも多くの方々に支えられていることを改めて痛感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

後援会活動の販売や募金活動にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

利用者新年の抱負

| | |
|-------------|--|
| 一羊園 | <ul style="list-style-type: none"> ・散歩などをして元気にくらしたい。 ・みんなで水族館等へ行きたい。 ・お花見がしたい ・たこ焼きなど、好きなものをたくさん食べたい。 ・掃除等、今がんばっていることを続けてがんばりたい。 ・他の利用者さんと楽しく遊びたい。 |
| すずかけ作業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕事がんばります ・一人暮らしの練習をします ・朝礼の司会をやります |
| すずかけ労働センター | <ul style="list-style-type: none"> ・モップが早くできるようになりたいです。 ・モップ絞り、トイレ掃除頑張る。 ・ポリッシャーとワックス出来るように頑張ります。 ・29年目、身体は魂の救世主の人になります。 |
| すずかけ第2作業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔の多い一年でありますように ・毎日明るく元気に過ごす ・工賃をたくさん稼いで、好きな物を買いたい ・色んな作業ができるようになりたい ・絵をたくさん描く ・ショベルカーの免許を取って、のびのび公園で働く |
| 武庫川すずかけ作業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・お菓子の仕事とか、いろんな作業を頑張りたい。 ・運動して足を鍛えて作業をみんなと頑張る。 |
| 上甲子園すずかけ作業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットをがんばる。 ・早く怪我を治す。 |

法人・事業所御寄付の報告（敬称略・順不同）

2016年11月1日～2017年1月31日

*法人

清水清三郎 川上隆弘 二色福祉会 金野満子 宮崎京子 桃原政子 山崎昌子 藤田隆治 黒瀬三男
 虎の子会 大旗友子 高齢化を考える会 塩木 治 田島栄文 インテリアミヤ 15件

*一羊園

一羊園家族会 匿名 高野 3件

*すずかけ作業所

一般財団法人高友福祉積善会 コープこうべ甲子園口コープ委員会 門脇 3件

*すずかけ労働センター

南野道明 池田邦子 西宮グリーン(株) 光武眞理 すずかけ労働センター保護者会（2件） 6件

*すずかけ第2作業所

小阪俊雄 コープマリナパーク店 用海公民館茶の湯の会 3件

*武庫川すずかけ作業所

コープ武庫川 鳴尾会 塩木 治 西宮市社会福祉協議会「年末年始ふれあい交流事業」 4件

*ジョイント

神楽町教会 1件

*上甲子園すずかけ作業所

上甲子園すずかけ作業所保護者会 1件

今年度(2016年度)会費・御寄付を頂いた皆様です。いつもありがとうございます。

一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

2016年4月1日～2017年1月31日

*法人団体の部

海清寺 高友福祉積善会 甲南防災設備 前中地所 ヤマムラ 新井組 平田建築設計 溝口社会保険労務士事務所
 岡崎石材店 神呪寺 松尾装飾 西宮市民踊協会 越木岩神社 メックテクニカ 近畿鋼材 西宮市歯科医師会
 ずずかけ第2作業所保護者会 芦屋山手教会ナルド会 牧原クリニック 税理士法人丸岡&パートナーズ
 ずずかけ労働センター保護者会 廣田神社 圓満寺 巨勢工務店 上甲子園ずずかけ作業所保護者会 西宮市薬剤師会
 ずずかけ作業所保護者会 大関エステート 大関 日新薬局 阪神園芸 武庫川ずずかけ作業所保護者会
 西宮中央地区民生委員児童委員協議会 金森商店 夙川地区民生委員児童委員協議会 創功エンジニアリング
 一羊園家族会 ひょうごヘルプ支援センター ケージークレセント 西宮市高木地区連合婦人会 41件

*個人の部

武内浩子 今西永兒 高谷知子 小田原和子 松村直衛 松村桂子 奥田幸子 善塔勝一郎 松本憲和 近藤慶子
 北川泰寿 森田 順 大前はるよ 作田敏文 大前繁雄 秦野多紀子 松田 達 中川一夫 土井克己 浜田良子
 高島一徳 山本圭吾 小椋朝夫 緒方満智 長部文治郎 片山寛子 小林義典 山岡敬子 齊藤正市 安野照子
 小川加代子 吉田幾久世 井上尚子 北川泰寿 大西勝代 谷矢吉夫 山本富子 久保田晴子 中谷美津子 本田洋子
 南野道明 渡辺洋子 四井俊良 梅本隆司・富実子 鈴木 侑 田中京子 中西洋子 八木皓次 光武眞里 早川典江
 水田義一 山本加津美 唐沢文子 吉野千栄子 馬場光子 藪田君子 岩井久美子 河合万貴子 瀧川秀樹 大村貞明
 八木米太郎・名見子 伊藤節子 前川拓郎 橋本真理 高林恵子 千翔有峰 中村絢子 松枝千尋 堀江史子
 宮川 達 佐竹基宏 谷田松子 四方 勝 深見秀敏 吉田 高 清水彩里 平山圭恵子 中川雅之 栗原裕実
 鳥田 卓 宮川 守 上谷幸代 瀬川千津子 大目修平 八木春作 倉石哲也 椿本和生 藤田信子 奥嶋育子
 後村喜美代 三原まゆみ 西野史子 早川典江 宮脇葉子 黒木真弓 柴山洋子 96件

一羊会後援会寄付(敬称略・順不同)

2016年4月1日～2017年1月31日

*法人団体の部

溝口社会保険労務士事務所 近畿鋼材 サンコウ消毒 上野神社 ヤマムラ 西宮浜産業団地協議会
 スタジオ凜建築空間設計 大関 小山 法心寺 聖和短期大学 海清寺 トータルマナー 関西学院婦人会
 西宮教会 夙川学院短期大学宗教部 関西学院教会 関西学院高等部 18件

*個人の部

高谷知子 小田原和子 松村直衛 松村桂子 善塔勝一郎 山本圭吾 小椋朝夫 片山寛子 行天比佐子 小林義典
 山岡敬子 寺尾郁子 中島一敏 小川加代子 吉田幾久世 岩本正博 藤本久夫 谷矢吉夫 重久 隆 久保田晴子
 西田智子 三上秀子 中谷美津子 近藤眞由美 中村栄子 長田悦子 岸 栄里子 田中ふみゑ 宮脇葉子
 本田洋子 上林達児 唐沢文子 高木種子 馬場光子 藪田君子 岩井久美子 下浦洋子 是常孝男 大村貞明
 大西勝代 井上尚子 前川拓郎 大目修平 梅本隆司・富実子 小久保京子 上林正芳 森岡宏夫 藤原寛子
 齊藤正市 渡辺洋子 万竝建二 倉石哲也 橋口徳四郎 田村明範 千翔有峰 川上隆弘 吉野千栄子 舛次和子
 水田義一 藤本政潔 八島満紀子 田中幸二 岡田まり子 山口静枝 横山潤・正代 浜田良子 柴山洋子

66件

●編集後記●

トランプ大統領の言動がアメリカのみならず、世界各国で物議を呼んでいます。今後、日本や私たちにどのような影響が出てくるのでしょうか？今後の情勢が気になりますが、私たちは選択するという責任と確かな目を養う自覚が必要なのでは……。

①